

プラズマ・核融合学会誌

第92巻第12号

2016年12月

解	説	無衝突プラズマにおける爆発的磁気リコネクションの理論	廣 田 真	861
小	特	原型炉に向けてのダイバータの研究開発課題 -現状と展望-		
	集	1. はじめに	上 田 良 夫	868
		2. 日本における原型炉ダイバータ概念の現状と開発課題	朝 倉 伸 幸, 星 野 一 生	870
		3. 非接触プラズマと熱・粒子処理に関するダイバータ実験研究 およびモデリングの現状と研究開発課題		
		3.1 非接触ダイバータプラズマ実験研究	大 野 哲 靖	877
		3.2 ダイバータモデリング研究	星 野 一 生	882
		4. ITER 及び原型炉ダイバータ工学の現状と研究開発	鈴 木 哲, 朝 倉 伸 幸	886
		5. ダイバータ対向・構造材料と照射影響研究の現状と研究開発		
		5.1 タングステン	長谷川 晃	891
		5.2 銅合金・フェライト鋼	濱 口 大, 谷 川 博 康	897
		6. まとめ	上 田 良 夫	902
講	座	画像再構成とパターン認識の数理		
		4. ラプラシアン固有関数とその画像データ解析への応用	斎 藤 直 樹	904
		5. 新たな計測へ		
		5.1 波面センサーによる密度揺動計測	秋 山 毅 志, 早 野 裕, 服 部 雅 之, 玉 田 洋 介	912
		5.2 アダマール変換光学系による空間分布計測	荒 川 弘 之	917
		Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		923
		インフォメーション		925
		幅広いアプローチ活動だより(64)		
		JT-60共同研究優秀賞の選考結果について		
		【人事公募】		
		Plasma & Fusion Calendar		928
本	会	記 事		930
		第14回高校生シンポジウム「科学とプラズマ」実施報告/IAEA 核融合エネルギー会議開催記念学術講演会「科学が拓く人類の未来」開催報告/平成29年度『専門委員会』形式による活動提案の募集		
Vol. 92	総	目 次		937
編	集	後 記		

表紙の絵

LHD におけるスリット型視線を用いたビーム放射分光法による密度揺動の時空間構造解析の結果を提示している。図(a), (b)はそれぞれポロイダル方向, 径方向に関する局所密度揺動を反映した BES 信号の磁場揺動信号に対する相互相関関数, 図(c), (d)はそれぞれポロイダル方向, 径方向に対する揺動の位相の空間分布を示している。高 β 放電プラズマの赤道面上外側における密度揺動は $E \times B$ 方向に位相速度をもち, また径方向にも有限の位相差を持つことが観測された。(Makoto ONO *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.11, 1402115 (2016) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel:(03)3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。